

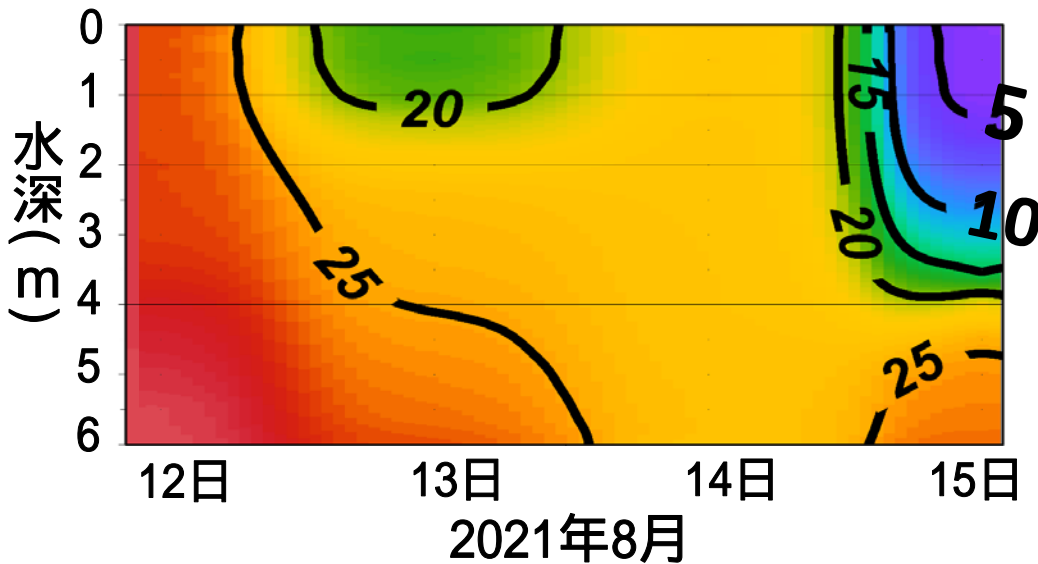
令和3年8月の豪雨による塩分の状況と カキ養殖への対策について（注意喚起情報）

令和3年8月17日

佐賀県有明水産振興センター

■ 現状

- ・ 下図はカキ筏の近くへ設置されているB4観測塔の直近4日間の塩分推移を示しています。
- ・ 8月12日は表層から底層まで塩分25以上でしたが、8月15日は表層から水深4mまで塩分20以下に低下しています。
- ・ 今後の降雨次第でさらに低塩分化が進行すると予想されます。



「低塩分化」
16日・・・

■ 対策

- ・ 低塩分層を避け、カキの斃死を少なくするためにも、垂下中の養殖連を可能な限り「深吊り」してください。

塩分の推移は下記の自動観測データでも確認できます。

「有明海水質連続観測 大浦沖観測ブイ」で検索

URL : <https://ariake-yatsushiro.jp/ariake/ooura.htm>

➡ 大浦沖観測ブイの表層～底層データを閲覧可能です。



○連絡先
佐賀県有明水産振興センター
TEL : 0952-66-2000
担当：川崎・野口